

雨漏りや凍害から大切なお家を守りましょう！

前号でも屋根の点検などおすすめしましたが、本格的な冬になる前にあらためてお家の点検とメンテナンスをおすすめします。

雨漏りの原因

雨漏りは、建物の老朽化や防水性能の劣化や隙間により起こります。強風を伴う場合は、雨水が下から上や横に流れてしまい普通なら漏るはずのない部分から雨漏りが起こることがあります。

雨漏りしやすい箇所や状況

◇窓や換気口などの開口部
・シーリング等防水性能の劣化

◇外壁
・つなぎ目の隙間
・ひび割れ
・シーリング切れ
・老朽化

—モルタル壁ひびの原因—
経年劣化
地震・台風などの自然災害

◇屋根
・塗装の剥がれやサビ
・防水性能の劣化
・老朽化

◇雨樋
・ダクトのつまり

—サイディング壁変形の原因—
つなぎ目の隙間、シーリング劣化部分からの雨水の侵入
雨水の染み込みによる膨張と乾燥による収縮を繰り返す
ことによって外壁材が変形し破損する

雨水の侵入によりモルタル壁ではひび周りが黒ずんだり、下地との間に入り塗膜が剥がれたり、サイディング壁では反りや浮いてきたりと、建物の外観を損ねるばかりか建物に大きな被害を及ぼすこともあります。

さらに、冬の寒さで侵入した水が凍結したり解けたりを繰り返すと外壁材に大きなダメージを与え破損部分がさらに広がり、建物内部にまで被害が及ぶ可能性もあります。

屋根のサビなどもどんどん劣化がすすみ、穴が開いてしまいます。

屋根の状態は気になるけどなかなか点検できない・・・外壁にひびがあるけど補修したほうが良いかわからない・・・など気になるけどそのままにしていることもあるかと思います。

塗装やシーリングは、経年により防水性は落ちていきます。防水性が低下した箇所からは水が浸入しやすくなり建物を傷めていきます。

防水性を保ち、雨漏りや凍害を未然に防ぐため定期的な点検・メンテナンスを行い大切なお家を守りましょう。

点検などについては、当社にお気軽にご相談ください。



株式会社 共同舎 (北嶺グループ企業)

一般建設業許可

北海道知事(般-24)石第21338号

一級建築士事務所

北海道知事登録(石)第5428号

札幌市東区北31条東17丁目5番24号

T(011) 787-3087 F(011) 787-3097

E-mail kyoudousya@hokurei-fudousan.co.jp

裏面もご覧ください。